

ドアスイッチ配線を行う場合

ドアスイッチへの配線を行うことにより、リモコン始動でのアイドリング中に、ドアを開けるとエンジンを停止させることができます。なお、ドアタイマーを設定している場合は、20秒後にエンジンが停止します。詳しくは、15ページの「ドアタイマー機能について」を参照して下さい。

注意

すでに付属の安全センサーケーブルがエンジンスターター本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行って下さい。安全センサーケーブルは、必ず本機に同梱されたものを使用して下さい。他の商品のものを流用することは出来ません。

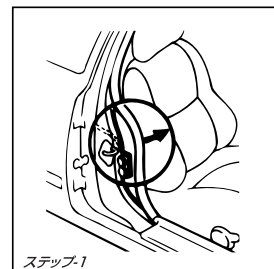
ステップ 1

車の運転席側ドアスイッチ線を探します。

ドアを開けたときは0V、閉めたときに5～12Vとなる線です。(必ずテスターをご使用下さい。)

メモ

半ドア警告灯および、ルームランプの点灯をさせるためのスイッチです。全てのドアを検出させる場合は、下記「全席ドアを検出させる場合の配線方法」を参照して下さい。



ステップ1

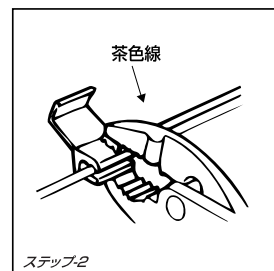
ステップ 2

安全センサーケーブルの茶色線を接続します。

安全センサーケーブルの茶色線先端のギボシ端子部をニッパ等でカットし、ステップ1で見つけた線に接続します。(付属のエレクトロタップ使用。)

注意

接触不良が起きないように確実に取り付けて下さい。ドアスイッチ検出がうまく行われない場合があります。なお、エレクトロタップ部は、防水のためテーピングをして下さい。



ステップ2

ステップ 3

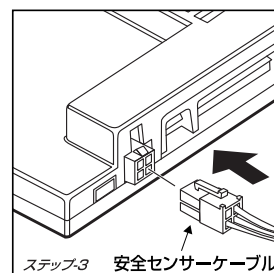
安全センサーケーブルをエンジンスターター本体のコネクター部(CN2)に接続します。

以上でドアスイッチ配線は終了です。

リモコンでエンジンを始動させ、ドアを開けたときにエンジンが停止することを確認して下さい。

メモ

残光式ルームランプ付車では、ドアを閉めてルームランプが完全に消えてから数秒後にリモコン始動を行って下さい。



ステップ3

全席ドアを検出させる場合の配線方法

全席ドアを検出させる場合には、下記に従い追加配線を行って下さい。全席ドア検出配線には、エレクトロタップ・ダイオードユニット・延長コードが別途必要となります。なお、ダイオードユニット・エレクトロタップは、お近くのカーショップ等で必要な分をお買い求め下さい。

- ① 運転席ドアスイッチ線を探す要領で、他のドアスイッチ線を探します。
- ② 別途で用意したダイオードユニットとリード線で①で探した線に別途で用意したエレクトロタップ等でそれぞれ接続します。
- ③ 配線した各ダイオードユニットを安全センサーケーブルの茶色線に別途で用意したエレクトロタップ等でそれぞれ接続します。

注意

接触不良が起きないように確実に取り付けて下さい。

またダイオードユニットの向きを間違えないように配線して下さい。検出がうまく行われない場合があります。接続部は、防水のためテーピングをして下さい。

■全席ドア検出接続概念図■

